

会 議 録

| | |
|------------|--|
| 会議の名称 | 本庄市総合振興計画審議会 第4回 |
| 開催日時 | 平成29年5月19日(金) 午前・ 午後 1時30分から 午前・ 午後 4時まで |
| 開催場所 | 本庄市児玉文化会館(セルディ)2階大会議室 |
| 出席者 | 審議会 : 岩崎委員、小暮委員、広瀬委員、堀口委員、高橋委員、齋藤委員、高橋委員、中野委員、戸谷委員、明堂委員、矢野間委員、渡辺委員、納富委員、小林委員、田邊委員、谷田委員、茂木委員 事務局 : 山下部企画財政部長、山田福祉部長、春山保健部長、笠原企画課長、小島課長補佐、堀越主査、齋藤主査、佐藤主事 傍聴者 : 2名 |
| 欠席者 | 内田委員、江原委員、木村委員 |
| 議題 (次第) | 1. 開 会 2. あいさつ 3. 議題 (協議事項) 第1号 前期基本計画 健康福祉分野素案について(資料1) 第2号 序論・基本構想素案について (資料2) 4. その他 5. 閉会 |
| 配付資料 | ① 本庄市総合振興計画審議会 第4回 次第 ② 資料1 前期基本計画 健康福祉分野 ③ 資料2 序論・基本構想(素案) ④ 資料3 次期前期基本計画(構成イメージ) ⑤ 資料4 「序論・基本構想素案」ご意見に対する対応表 |
| その他特記事項 | |
| 主管課 | 企画課 |

会 議 の 経 過

| | |
|-----|---|
| 発言者 | 発言内容・決定事項等 |
| 事務局 | みなさまこんにちは。本日は大変お忙しいところ本庄市総合振興計画審議会第4回の会議にお集まりいただきまして、ありがとうございます。 (欠席・遅刻の委員について報告) 本日の傍聴ご希望者は2名でございます。本庄ケーブルテレビが撮影の申 |

| | |
|-----|---|
| | <p>し出がございましたので、ご了承願います。</p> <p>委員のみなさまの所属団体の総会が開催されまして、役員の交代がございました。本審議会の委員の変更もございましたので、これより委嘱状の交付を行いたいと思います。本来ならば市長より委嘱状を交付させていただくところでございますが、本日、市長が所要により出席できないことになりまして、申し訳ございませんが、企画財政部長より交付をさせていただきます。</p> <p>(委員の交代に伴う委嘱状の交付、委員あいさつ)</p> |
| 事務局 | <p>それでは本日の会議資料につきましてご確認をさせていただきます。</p> <p>(配布資料の確認)</p> <p>それでは次第2でございますが、会長よりごあいさつをお願いいたしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> |
| 会長 | <p>みなさま改めましてこんにちは。本日はお忙しいところそしてまた暑い日にお集まりいただきまして、ありがとうございます。本来であれば、みなさまの近くであろう本庄市役所で会議は開きたかったわけですが、あいにく予約で一杯だったため、セルディで開催の運びとなりましたことをご理解いただきたいと思います。今回は健康福祉分野が主となりますが、ぜひみなさまにおかれましては、忌憚のない、各界の代表としての発言をしていただければと思っております。またこれからますます暑い日が続き、梅雨入りも予想されております。どうぞ食中毒や熱中症などお体に気を付けていただければと思います。それでは始めさせていただきますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p> |
| 事務局 | <p>会長ありがとうございます。議事の進行につきましては、審議会条例第6条第1項により会長が議長となっていくこととなっております。これからの進行につきましては会長にお願いいたしたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p> |
| 会長 | <p>それでは、私の方で議長として進行させていただきます。本日の基本計画の素案につきましては、健康福祉分野部会長、副部会長の出席をお願いしております。それでは早速議題に入らせていただきます。協議事項第1号前期基本計画 健康福祉分野素案について説明をお願いいたします。</p> |
| 部会長 | <p>●前期基本計画 健康福祉分野素案について説明</p> |
| 会長 | <p>部会長の方から説明がございましたが、健康福祉分野素案について、みなさまからのご意見、ご質問がございましたら挙手の上、お願いいたします。</p> |
| 委員 | <p>私は、埼玉県地域保健医療計画協議会の委員を3期6年やっています、児玉医療圏は3年で計9年地域医療に関係して参りました。自治体立病院に26年勤務して参りましたので、地域医療にはかなり関わってきました。質問、意見について素案7ページ当たりとなります。10年前、当計画策定の基礎データとして市民意識調査が平成18年にありました。そこで満足度が一番低く、優先度が一番高い施策として、医療の充実が示されていました。</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>そして10年後の今回、「健康づくりの推進」は満足度4位、重要度5位、「医療体制の充実」は満足度32位、重要度1位で若干改善しました。これは関係者の大変な努力があったと思います。</p> <p>ただし重要度は1位のままです。現況と課題をみてみると、「埼玉県地域保健医療計画で定めた本庄市、児玉郡を一体とする児玉医療圏に属し、救急医療体制を組んでいます」とあります。深谷赤十字病院が諸々の拠点病院であることが大きな要因だと思いますが、平成22年に児玉圏域から広域の医療圏で北部医療圏となりました。「地域医療を担っている医療機関の協力のもと救急体制を組んでいます、対応出来る医療機関が少ないため医療圏内だけでの対応は難しく、他の医療圏域への搬送や、搬送時間が短い群馬県の病院へ搬送されています」というのは現実だと思います。「市民の安全安心のために高度医療をはじめ地域医療の充実が重要です。北部医療圏の充実を県に要請するとともに、県境を越えた体制整備についても県への働きかけを行うとともに、他の方策も研究していきます」とあります。なかなか県境を越えることは容易ではないこととして、「他の方策」というのは何なのでしょう。それから健康づくりの推進の現況と課題についてですが、「受診率・受診率は低い状況」とありまして、先ほどご説明もありましたが、検診率の出し方が国、県とは違うということで、胃がん検診については5.8%となっていますが、9.4%というのが平成25年度の地域医療協議会で定めた数字です。これが28年度になってもう少し良い数字が出てくると思うのです。深谷市では、平成25年実績で胃がん15.3%、肺がん21.4%、大腸がん20.6%、前立腺がん22.1%、子宮頸がん21.9%、乳がん27.1%で先ほどの説明では、これに合わせた数字で乳がんの13.9%で深谷市と比べると倍ぐらい違うのです。これが実態です。戸田市では、昨年、乳がんのキャンペーンを実施し、乳がん検診率は10年前の5%から今は53%に伸びたのです。重要度は10年間1位なのでですからトップが真剣に取り組んでいただく必要があると思います。全庁的な取組を願います。</p> <p>深谷赤十字病院が埼玉県北の救急救命センター、災害拠点病院、周産期母子医療センター、地域医療支援病院、がん診療連携拠点病院となっています。県北の拠点病院の深谷赤十字病院をもう少し頼っていけば、あるいは深谷市、戸田市が実現したような乳がんの検診も上がるでしょう。検診率目標値が50%ですが深谷が20%としたようにもう少し身近な手の届く数字にした方が良いかと思います。あんまり上の目標を設定しますと実現できない、あきらめることになってしまうので、もっと手の届くような目標を設定した方がいいのではないのでしょうか。</p> |
| 会長 | ありがとうございます。副部長の方で説明をお願いいたします。 |
| 副部長 | 最初の「北部医療圏の充実を県に要請するとともに」でありますが、この点については様々な機会を通して北部医療圏の充実について県に要望し |

| | |
|--|--|
| | <p>て参りましたし、これからも要望して参ります。</p> <p>その次の「県境を越えた体制整備」については、現在、医療圏は熊谷、深谷を含む北部地域に属しておりますが、本庄市のような県境都市については、患者さんに県を越えて受診してはいけないというようなことは言えませんので、行きたい病院に行かれることとなります。病院の方でも患者さんがいらしたら断れない、受診できることとなります。救急医療もそうですが、児玉郡市には大きな救命センターを持つ病院がございませんので、深谷赤十字病院に行きます。ただ、深谷赤十字病院だけでは対応できないということもあって、現実問題として藤岡総合病院等にかなりの患者さんが行かれる搬送状況もあります。およそ4割の方が県外に搬送されている状況です。藤岡総合病院と話をさせていただきまして、患者さんの受入について協定を結ばせていただきました。伊勢崎市民病院とも協定を今年度より結んでおります。これは小児救急医療も含めて、藤岡市、伊勢崎市には大きな病院がありますので、群馬県側にある医療資源を使わせていただいているというのが現状でございます。この状況を大きく改善することは難しいため、群馬県側の病院に協力をお願いしているということです。埼玉県にもこの状況は伝えており、埼玉県からも群馬県と話をしたいという状況になっております。今後これも続けていきたいと思っております。</p> <p>「他の方策」については、8ページ「地域医療の充実」の中で「医療資源の確保を図るとともに、病院等の誘致も含めさらに高度な医療の充実に向け研究します。」ということを取り組み内容として書かせていただきました。現状、県北地域の病床数はかなりの数ですが、お医者さんの数や看護師さんの数という点では大変な状況で、100%稼働しているという状況ではございません。本庄市児玉郡医師会の方では、准看学校、看護学校で養成はされていますけれども、なかなか地元には根付かないとも聞いております。今後10年を考えると、この地域にある医療資源を確保していかないと、在宅医療が中心になってきますので、医療資源の確保の施策を考えていきたいと思っております。高度医療も含めて、病院の誘致も含め、大学病院等の大きな病院を誘致して、本庄市で開業していただければありがたいことではありますけれども、なかなかそういうわけにもいかないと考えておりますので、そこについても一つの方策として研究して参りたいと考えております。新たな病院ということもありますが、今児玉郡市内の病院で高度医療を実施していただけるようなことがあれば、市で支援できることがあれば、そういったことも研究していきたいということで、ここに書いてある「その他の方策」ということとなります。市民病院等が出来ればいいのですが、本庄市が市民病院を持つとなると莫大な費用が掛かってきますので、本庄市の身の丈に合ったところほどこかを探りながら、これについては研究して参りたいと考えております。</p> <p>次のがんの検診率に関する話でございます。本庄市では、新しくオープン</p> |
|--|--|

| | |
|-----|--|
| | <p>する保健センターにおいて、本庄市児玉郡医師会のご協力やマンモグラフィ機器の導入等で、乳がん検診を受診することが可能となります。乳がん検診は対応できる病院の数によって検診率は左右されるところもありますので、戸田市まで行かないまでもしっかりと進めて参りたいと思います。それから、検診率の計算方法ですが、他市と比較出来るような計算が宜しいでしょうということでございます。今現在では委員が提示されたような計算方法となっておりますが、この計画は来年3月が策定期間になりますので、来年3月までに計算方法が変わるという情報があったものですから、新しい計算方法で書かせていただきました。今現在比較できるような率とすると、今の計算方法はあるわけですから、現在の計算方法で計算した受診率に改めさせていただければと考えております。目標値については、特定検診は60%、がん検診50%は国が定めた数値です。これに代わる目標値というのは非常に難しいと考える。深谷市の目標値に揃える、プラス5%で積み上げるそれも一つの考え方です。ただ、どちらにもその根拠となるようなものがございませんので、今回あえて国の目標値を掲載させていただいたということです。</p> |
| 会長 | 委員の方はよろしいですか。他に質疑はありませんか。 |
| 委員 | 医療設備の充実ということについては、埼玉県に要望しているとのことでしたが、この問題は以前から市民の方でも要望があることはご存知と思いますが、具体的にはどのような要望をしていて、県の答えはどのようなものなのか、またそれに対して本庄市はどのような対応をしたのかといった経緯をもう少し示していただくといいかと思いますが、いかがでしょうか。 |
| 会長 | 直接、今回の健康福祉分野の素案とは関連しないと思いますが、委員質問の内容の関連ということで答えられる範囲でお願いします。 |
| 副部長 | 時系列に沿ったようなお答えはなかなか難しいところがございます。この地域の医療体制の充実ということを県にお願いしているわけですが、いろいろな会合などで要望や調査票等を出させていただいております。県としては、意見として受け止めていただいておりますけれども、それではこの地域にこういう病院をつくりますという答えは、なかなか難しい所がございます。継続的にお願いをしていくしかないのかなと考えております。県北の現状を県にわかっていただいて、もっと力を注いでくださいとお願いをしていくということでございます。 |
| 委員 | 今のお答えでは中身が見えないのですが、意見を述べているということで、本庄市から要望書として文章として出しているということではなくて、代表して会合に出ている委員さんが、その会議の中で要望しているというレベルに留まっているということでしょうか。 |
| 副部長 | その通りでございます。 |
| 委員 | それ以上の踏み込んだ形での本庄市の取り組みは考えていないというこ |

| | |
|-----|--|
| | とですね。 |
| 副部長 | その通りです。要望書だとか嘆願書を出すということは想定してはおりません。 |
| 会長 | 他に質疑はありますか。 |
| 委員 | がんの検診率について、人間ドックを受けるといろいろながんの検診のようなことをするし、そういうものはこれに反映しているのかどうか。また、意見を申し上げますと、全部のがんを網羅して早めに検診を受けましょうということではなくて、重点的にこのがん検診を受けましょうといった形の方が浸透していくのではないかなと思います。 |
| 副部長 | 人間ドック等ががん検診に相当するような内容をやっているところについては反映してございません。ここに出しているのはあくまで本庄市が実施しているがん検診を受けられた方ということになります。この他に職域でがん検診を受けられた場合もございます。そこも把握していないため、本庄市のがん検診を受けられた率ということになっております。国の率は市町村が実施している検診の率ではございませんので、国民の50%はがん検診を受けてくださいということになりますため、なかなか難しいところがございます。キャンペーンについてはそういうご提案をいただいたということで今後施策の方で検討して参りたいと考えております。 |
| 委員 | そうすると、本庄市が国民健康保険でがん検診の補助金をくださいますよね。それを受けたものは検診をしなくていいですよという言い方だったと思いますが。 |
| 副部長 | 人間ドックを受診された方は費用のうち2万円を助成させていただいております。国民健康保険、後期高齢者医療保険で助成させていただいております。人間ドックを受けたら市の検診は受けなくても良い、市の検診で助成を受けたら人間ドックは受けなくて良いということですが、これはがん検診ではなくて、特定検診と後期高齢者の健康診査のことです。特定検診を受けた方は人間ドックを受けても助成は出ません。逆に人間ドックを受けた方は特定検診を受けなくても結構ですとのこと。特定検診の受診者数の中には人間ドックを受診された方の人数も入っています。 |
| 会長 | 他に質疑はありますか。 |
| 委員 | 質疑ではなくて意見なのですがけれども、先ほどの「他の方策」の件なのですけれども、本庄市の少子化対策は急務で、とても大きな課題に挙げられています。実際に小児救急に対して多くのお母さまたちが不安を抱えられています。初期救急で済むような外来のケガくらいについても全く窓口がない時間帯というのがあります。ここに書いてある内容を見ると、100%を網羅しているように見えますが、実際にはなくて困ったことがありました。消防署に電話して受けてくれそうなところに電話しても明確な答えが得られるわけではなく、その後自分で、時間外にお願いして赤ちゃんの出血等に |

| | |
|----|--|
| | <p>伴うことに対応したことがあります。私の子どもが産んだ頃の20年位前は本庄総合病院が24時間小児救急の受付をしてくれていたのです。もちろん新しい大きな病院が来ることはいいと思いますが、非現実的なことを唱えるよりも、もともと地域にある総合病院を市と共同経営ではないですけども、市民病院の役割をしてもらいたいと思います。もともとは小児科もすごく充実していたし、私が総合病院で産んだ頃は産婦人科もとてもよかったです。産婦人科と小児科をしっかり復活して24時間体制ができると思うのですね。子どもがケガしたときは、群馬大学の先生や大学病院の先生が24時間待機してくださっていたので診ていただきました。それが最近ではできなくなってしまったのです。現在ある病院を活用しようというのを進めていただきたいと思います。</p> |
| 会長 | <p>なかなか本庄総合病院を市と共同経営というのは難しいと思うのですが、子育てしていると云わんとしていることはよくわかります。何かお答えいただけることがあればお願いします。</p> |
| 委員 | <p>お答えいただかなくても結構ですが、本当に困っていることは理解してもらいたいです。赤ちゃんがいるお母さんが、本庄に来て不安なものは、病院であるとほぼ100%の方がおっしゃられます。夜間救急だけでなく土曜日の午後とかも診てもらえないことも多いので、ある病院で検討してもらえればと思います。</p> |
| 委員 | <p>医療体制、救急医療、小児救急医療に関しては本庄市のみならず、全体的、全国的に問題になっていまして、そのなかでも埼玉県は周産期医療が脆弱です。すこしでも改善するように私どもも努力をしております。これには行政の力も必要となりますので今後とも協力をいただきたいと思います。</p> <p>6ページのがん検診の説明の中で「ABC検診」という記載がありますが、先ほどの説明では胃がんリスク検診との言葉を使っていましたけれども、「ABC検診」はわかりにくいので、胃がんリスク検診で統一した方がいいのではないかと思います。</p> <p>それから、群馬県の医療連携につきましては10年前と比較すると進んでいます。児玉郡市は、藤岡総合病院、伊勢崎市民病院と連携を進めてきています。高崎総合医療センターの方からこの地域と連携を進めていきたいというお話が先方からありました。高崎は隣県隣接地域であり、ぜひお願いしたいとのことで今後進めていく予定でございます。</p> <p>昨年度10月に策定されました埼玉県地域医療構想におきまして、埼玉県北部から群馬県南部に行かれる患者さんと群馬県から埼玉県側に来る患者さん比較すると約10:1になります。地域医療構想の2025年時点でのどうなるかの試算も出ていますが、差は広がるばかりで縮まらない予測です。この部分に関しては、埼玉、群馬と言わず、我々は群馬県と密接につながっているということで、ただ群馬県に患者さんをお願いするというのではな</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>くて、救急医療については、埼玉県自治体から群馬県自治体へ補助金その他を交付するという必要ではないかと思えます。</p> <p>救急医療だけでなく、すべての地域医療、これから国の施策として在宅医療というのが始まります。もちろん入院医療というものがあります。これについては何が必要かといえば、医療従事者なのです。ドクターもそうですが、看護師さんの充実がないと訪問看護ができませんし、入院医療もできません。看護師を養成することがとても大事です。県でも秩父や本庄は中山間地域という括りに入ります。本庄市児玉郡の全域面積は埼玉県の19分の1となります。ところが人口は1市3町合わせて55分の1です。広い地域を少ない医療インフラでカバーしないとイケない。そのような流れの中で群馬県との連携を考えていく必要があります。それから、看護師さんを養成するには看護学校がございませう。児玉郡域では准看護学校と看護専門学校がありますが、それぞれ毎年40人程度の生徒を養成しています。養成に係る費用としては、授業料と県からの補助金でやっておりますけれども、二つの学校で毎年2,000万円の赤字を医師会から補てんしています。本庄市児玉郡自治体からの補助金は、まだいただいておりませんが、秩父郡市では医師会からの持ち出しはなくやっております。中山間地域では自前で看護師を養成しない限りは、都会からは来ないのです。大きな医療の充実の一つとして触れておいてもいいのではないかということです。</p> |
| 会長 | それでは説明をお願いします。 |
| 副部会長 | 胃がん検診と胃がんリスク検診をしっかり分けて使いなさいとのご指摘をいただいたと思えますので、そのように分けて使って参りたいと思えます。 |
| 会長 | 他に質疑がありますか。 |
| 委員 | 生活保護と生活困窮者等の支援についてですが、生活困窮者自立支援制度が昨年からできたと思えますが、本庄市でも生活保護の就労支援というのが重要だと思えますが、生活保護者につきまして、平成28年度1.8%。それから若者の15歳から65歳の方たちが生活困窮者自立支援ということでかなりそういった影響を受けている方がいるわけです。こういう方がやがて生活保護に移行されると地方財政は非常に厳しくなるのではないかなと思うので、生活保護と生活困窮者への支援を厳しくやってもらい、就労支援もハローワークを通じて就労できる道しるべを示していただかないと、生活困窮者がますます多くなっていくと思いましたので、質問させていただきました。 |
| 部会長 | 生活困窮者に対する支援についてですが、生活保護になる以前に、働けない若者などに支援をします。最終的にはハローワーク等も活用するのですが、臨時の就労支援員4人を雇い相談など履歴書の書き方や面接の受け方などきめ細かい支援を行っております。いろいろな事情で障害だとか目に見え |

| | |
|-----|--|
| | <p>ないものもありますので、そういったものも相談を受けながら、就労できるような支援を行っておりますので、ご理解いただければと思います。率なのですが、実施すればすぐに反映するというわけではないものですから、その辺をご理解いただければと思います。</p> |
| 委員 | <p>4ページ「めざす姿」について、変更なしとなっておりますが、受診率の向上に関する「めざす姿」は書き込むことはできないのかということをお聞きします。次に5ページ6心の健康づくりの推進では「自殺対策計画を策定し」とあり、6ページでは「心の健康づくり」の中にもあるのですが、策定義務付けになっていて、このタイミングで内容が盛り込まれていないのは非常に残念だと思うのですが、計画が策定されたときは、そこに書かれた施策をしっかりと実施していくといった計画に対する担保のような言葉を書き込んでいただきたいと思います。次に9ページ⑦医療費適正化の推進について、ジェネリックなども記載もありますが、最近ではセルフメディケーションということも出てきております。適正化に役立つと思いますが、入れ込むことはできないかお聞きします。それから15ページ「めざす姿」について、障害者の方の暮らしについて「個人としての尊厳を保てるような」とありますが、めざすべき姿であれば、もう少し明確な表現に変えた方がいいと思います。最後に16ページ③障害者との意思疎通を支援についてですが、要約筆記の中にはタブレットの活用なども含まれるのか、全然そういったことは想定していないのかお答えいただきたいと思います。</p> |
| 副部長 | <p>4ページ「めざす姿」のなかで受診率を書き込むことは難しいと思います。暮らしの姿を表す表現にしておりますので、ここで個別の受診率を書き込むのは難しいかと思います。成果指標としては受診率をあげさせていただいておりますので、これについてはしっかりと取り組んでいきたいです。それから5ページの中で自殺対策計画を策定し計画に基づいてしっかりと対策を行っていく表現ができないかということは持ち帰って検討いたします。9ページ医療費適正化のセルフメディケーションについては、ここに入れるのが適当かどうか含めて検討させていただきたいです。</p> |
| 部長 | <p>15ページ「めざす姿」について、障害者の方の暮らしについて「個人としての尊厳を保てるような」を明確な表現にという点についてはこれも持ち帰って検討させていただきます。16ページ③障害者との意思疎通を支援についてはタブレットの活用はここでは想定しておりませんでしたので、これも持ち帰らせていただきます。</p> |
| 委員 | <p>4ページの「めざす姿」に受診率の向上を入れるのは難しいということだったのですが、指標に書いてあるのに「めざす姿」に書いてないのは何だか変だなと違和感があります。「めざす姿」の中ではなくても結構ですので、受診率の向上をどうするかを書き込んでもらいたいと思いますが、個別施策についてはキャンペーンなどいろいろとあるかと思いますが、向上させてい</p> |

| | |
|-----|--|
| | くこと自体について書き込んでいくのは必要だと思いますが、どうでしょうか。 |
| 副部長 | 6ページの主な事業一覧の中には「受診率の向上を図ります」としか書いておりません。啓発についてどのような方法が向上につながるかの正解がなかなかないものですから、いろいろなことをやってみながら考えていくのかなと思います。案内の仕方もどれか一つを特定して書くことはできませんので、こういった書き方で進めさせていただければと思います。広報についても今後、手直しをしながら進めていければと思います。 |
| 委員 | <p>13ページ協働による取り組みで、現計画は「昔の遊び」だとか「児童の登下校の見守り」について記述があり、現在は地域の自治会や老人クラブの方などがすごく骨を折ってくれているのですが、新計画になると記述がなくなってしまっているのが、最近いろいろな事件も起きてしまっていますが、学校において登下校の見守りはとても重要で、自治会の方や老人クラブの方が活動してくださっているのです。もともと本庄市全部の地域が見守り活動をしていたわけではないのです。一部の地域が好意で見守り活動をしているのです。学校によっても見守り活動をしてくれる自治会もあればそうでない自治会もあるので、できれば本庄市全域でせっかくいいものがあるので広めてほしいということ、記述を消してしまったのが残念だということ、「伝統的な行事や昔の遊び」は学校の授業として1年生から6年生が、地域の老人クラブの方が来ていただいて授業の一環としてあるのですけれども、記述がなくなっていて、違うところにあるのならばお聞きしたいです。</p> <p>それと、先ほどの医療のことなのですが、大人は群馬にも行けるのですが、小児は例えば三人兄弟で1人がケガしても2人を置いて1時間かけて遠くまで行けないのが現状なので、やはり小児医療だけは市内に欲しい。それを分けて考えてもらって、切り離して考えてもらいたいと思います。</p> |
| 会長 | それでは部長、説明をお願いします。 |
| 部長 | 協働の取り組みですけれども、確かに「見守り」「昔遊び」等の表記がなくなっていますが、これもまた持ち帰って検討させていただきたいと思います。 |
| 委員 | 先ほど、見守りは老人クラブがやっているというふうに言われましたが、ほとんどの場合は自治会が関わっているのが、その辺を老人クラブがやっているように言われると、ちょっと話が違うと思います。 |
| 委員 | 地域の各組織で、老人クラブとか自治会が連携してやっているというふうに言っていたほうが、誤解を招かなくていいと思います。 |
| 委員 | 自治会をお願いしたいのですが、やっていない地域もあります。すごくいい取り組みで、全国的にもこれだけ自治会が協力して登下校の見守りをやっている地域は少ないと思います。上里とかは、ない地域もあるし。聞けば危ない地域も多いので、ぜひ全ての自治会でやっていただければ |

| | |
|-----|--|
| | に、本庄市からも呼びかけていただけるととてもありがたいです。 |
| 会長 | この議案からちょっと離れてしまっている気がするのです。申し訳ありません、皆さんにもう1度お伝えします。この議案の内容で、ぜひお願いしたいと思います。これ以上、その他については受け付けませんのでよろしくお願い致します。その他質疑がありますか。 |
| 委員 | 8ページが一番上の成果指標の捉え方ですが、医療サイドによっていくつもあるのですが、これで取り上げているのは病院群輪番制受診者に占める軽症患者率の割合が多いところもあります。軽症率は少ない方がいいので、これは本当に重要なことだと思うのです。ここを受けている病院に、軽症の患者が来てしまって重症の患者が困ってしまう、これは大変重要な指標だと思います。成果指標の捉え方は、重要性と、成果の数値の出るものを選んでいいのか、選び方なのですが、例えば平成20年度の本庄市総合振興計画では、先ほど医療費の話が出ましたが、医療体制の充実として2つ挙げているのです。一つは国民健康保険の1人当たりの医療費で、現状は189,290円、目標値は170,361円となっています。これは成果が上がったのかどうか、これは検証しているのかどうか。それから保健指導の指導率も、現状は25%で、目標値は45%という目標を立てています。これがどの程度実行されたのか、これはもうクリアしてしまったから指標に入れないのか、お分かりならお答えをお願いします。 |
| 副部長 | まず平成20年度から平成29年度の本庄市総合振興計画の中に書かれている、ここで言う54ページの医療体制の充実の中の生活指標、国民健康保険が納付された医療費については、現在、数字は持っていないのですが、1人当たり医療費は高くなっている状況です。それはなかなか落ちない状況があります。ここに載せていないのは、医療体制の充実という、今回、専門部会で議論になったのですが、医療体制の充実に、国民健康保険医療費の1人当たり医療費が高くなりやすいというのを出すべきなのかというところがありました。ここは市民の皆さんの健康づくりをしっかりと推進することで、結果として医療費に響いていくのだらうと思います。だから医療費が高くなりやすくなることをここに出すよりも、どれだけ市民の皆さんが健康づくりに取り組まれるのか、あるいはそういう取り組みについて、市ができることをやっていきたいということで、国民健康保険医療費については、今回ここに入れないこととさせていただいています。 |
| 会長 | よろしいですか。ほかには。 |
| 委員 | 4ページから5ページのところですが、4ページの施策の大項目の名前が「健康づくりの推進」になっていて、5ページの施策中項目の2場面が、やはり同じく「健康づくりの推進」になっています。仮に「からだの健康づくり」とか、少し変えられたほうがよろしいのではないかというのが1点あります。「健康づくりの推進」の2番という、中項目の内容を拝見すると食育 |

| | |
|--------------------|---|
| | <p>のことが書いてあります。この食育というのは、ほかのところでもあるのかなと想像はするのですけれども、確か前回の教育のところでは食育というのは入っていなかったと理解しています。では環境の分野に入ってくるのかというと、これは先の話ですので分かりませんが。比較的、食の安全とか安心というのは重要な項目ではないかと考えていますので、何かもう少し、どこかで表現できる部分があったら、しておいていただいたほうがよろしいのではないかと感じましたが、いかがでしょうか。</p> |
| 会長 | <p>それでは副会長で説明をお願いいたします。</p> |
| 副会長 | <p>食育について触れているのは、ここだけだと思います。教育の方がどのように書かれているか、詳しく見ていないので分からないのですが、まず食の安全についても、多分触れているところはないと考えます。本庄市では、本庄市健康づくり推進総合計画という、食育も含めた健康づくり総合計画を作っていて、その中では食育について、その項目として取り上げていますが、この総合振興計画の中では、食育についてはここで取り上げさせていただいて、ほかでは取り上げていません。なかなかほかでも取り上げにくいところもあり、健康づくり総合計画に則って、食育については進めさせていただければと考えています。</p> |
| 会長 | <p>心の健康、体の健康ということでは。</p> |
| 副会長 | <p>5ページの中項目にある、健康づくりの推進は、6に心の健康づくりというのがあるのだから、体の健康づくりという表現に変えるべきであるということをいただきました。同じように6ページにも、心の健康づくりの推進という表現がありますので、併せて持ち帰らせていただきたいと思います。</p> |
| 会長 | <p>ほかに質疑はありませんか。</p> |
| 委員 | <p>字句についてです。1ページの現況と課題のところ、「子ども達」と漢字になっているのですが、4ページではひらがなになっています。私の名前と同じなので気にしていたのですが、普通はひらがなにするのだらうと思います。それから7ページの現況と課題のところ、「休日及び年末年始の昼間及び夜間と平日の1日の夜間に内科系診療に対応し」と書いてあるのですけれども、読んでいてよく意味が分からなかったのです。次の8ページの、1の初期救急医療の充実のところを書いてあるのですが、「休日・年末年始の昼間、夜間及び週に1日平日の夜間に」となっています。この方がはっきりするのではないかと思います。それから18ページの現況と課題の、上から5行目にワンストップというところがあるのですが、これも注釈を入れたほうがいいのではないかと思います。</p> |
| <p>部会長 副会長</p> | <p>まず1ページの「子ども達」の漢字ですが、4ページはひらがなになっていますので、表記を統一させていただきたいと思います。それと18ページになりますが、「ワンストップで」という表現も、また持ち帰って検討させていただきたいと思います。続いて7ページの休日急患診療所の記述の中</p> |

| | |
|-----|--|
| | で、8ページにある休日急患診療所の表記のほうが分かりやすいので、直すべきではないというご指摘です。ご意見をいただきましたので、持ち帰って検討させていただきます。 |
| 会長 | よろしいですか。先ほど何か言っていましたが、もしあればどうぞ。 |
| 委員 | 前回に委員さんが、食育のことはとても大切なので入れてほしいというご意見をおっしゃっていて、反映しているのかと思ったら、この回答のところで「修正なし」とあるので、やはりどこかで入れるというご意見は重要かと思えます。今日の4番のところの、最後の28番で、前回のご質問に対する回答があると思うのですけれども、「勘案しますが、留意して表現いたします」ということになっています。 |
| 会長 | そのことに対して、どうでしょうか。 |
| 事務局 | ありがとうございます。基本構想の素案に対する内容のところでのお話があったかと思えます。これは次の議題のところでもご意見をいただくかもしれないのですけれども、食育に関しての記述ですが、文章化については留意していこうということで検討しているところです。ですので、基本計画のところは、まだ全てについてご提示していない状況もあります。そのことも含めて再度検討させていただきたいと思えますので、よろしく願います。会長、よろしいでしょうか。 |
| 会長 | よろしいです。ほかに質疑はありませんか。ではここで休憩を取らせてもらっていいですか。10分ほど休憩を取ります。 |
| 会長 | それでは、そろそろ始めさせていただきたいと思えますので、着席をお願いいたします。では休憩前に引き続き、会議を開きます。委員さん、お願いいたします。 |
| 委員 | また話を蒸し返すようで申し訳ないのですけれども、4ページのがん検診のことで、先ほど私がお聞きしました検診率のことです。例えばドックで受けたら反映できない、それから職域で受けたのも反映できないと、正確な数字が出ないと、意味がないのではないかと思ったのです。そのことについてもう一度、正確な数字にどうやったら近づくのかというのをお聞きしたいと思えます。正確な数字が出るような数値の取り方をさせていただきたいというのが一つです。それから8ページですが、やはり今までの議論を聞いていますと、医療体制の不安というのが一番なのです。確かに小児救急について穴が開いているところがあるときに、初期の救急医療、8ページの一番上のほうですが、第一次救急で休日急患診療所は内科系の診療を行っているということです。その内科系の前に、小児さんは診ていただけなのか、その辺のはっきりしたことをお聞きしたいのです。それと二次救急が問題になっていますが、確かに先ほど委員さんがおっしゃったように、昔は本庄市でも、私が子育ての頃はいつでも24時間小児を受けたという病院がありました。総合病院もそんな体制になっていたと思えます。小児科の先生がお願いでき |

| | |
|------|--|
| | <p>なかつたり、体制が変わったり、患者さんがあまりにもピリピリとして、後で訴えられるのが嫌だということで、専門ではない先生は小児の診療をお断りしますというような風潮になっていると思うのです。それでもう一つは、先ほどおっしゃったことは非常に現実的だと思うのは、地域にある医療資源を使って、そこに先生をお願いするなりする。なぜそういう体制が崩れたかという、一つは不採算なのです。急患の患者さんというのはいつ来るか、来ないか分からないけれども、看護師さんとお医者さんと待機しているわけです。要するに急患だけではなくて、いつ来るか来ないか分からないけれども、看護師さんとお医者さんと待機しているわけです。そうすると病院としては必ずこれは大きな経営上のリスクになってしまって、それで閉めてしまったところも多いと思います。この辺は公費を入れていくしかないと思います。それからどうやって小児の先生を24時間どこかで確保するという事です。熊谷圏域に広がっていますが、どうしても穴が開く日ができてしまうというようなところもありまして、公費投入やむなしということは一つ考えられることと、もう一つはどうやってその人材を生んでくるかということも大きな課題になるかなと思います。その辺が地域の一番の医療的な問題点かなというふうに思うのですがどうでしょうか。</p> |
| 副部会長 | <p>まずがん検診の受診率ですけれども、私ども行政のほうで正確に出せる数字は、行政のがん検診を受診していただいた方でしたらしっかりと出せます。ただ、その職域の方、それから人間ドックの方をどういうふうに反映させるかというのは一つ課題としてありますけれども、それを中途半端な形で入れていくのであれば、このまま本庄市が実施しているがん検診の受診率というものをここに出させていただいて、それを本庄市の部分で少しでも上げていくということをやっていきたいということです。そのためにここには本庄市で行ったがん検診を受診した方の率を挙げさせていただいています。</p> <p>次に、小児の初期の関係で、休日夜間診療所において小児の初期救急は診ていただけないのかということです。内科系の診療については、小児は診ていただけることになっています。ただ、内科系の医師ですので、これは小児科の専門医の先生がいらっしゃるわけではありません。中には例えば眼科の先生などの場合もいらっしゃいます。そういう場合には少し難しいことも発生するというふうに考えています。それもありまして、平日夜間の診療をこの7月ぐらいから、新しい保健センターで始めるのですが、後方支援病院という位置付けで、先ほど申し上げました伊勢崎市民病院、それから藤岡総合病院と協議をしました。伊勢崎の地域において伊勢崎市民病院は、木曜日が小児の輪番日であり、専門医の先生がいらっしゃいます。本庄市の休日夜間診療所で受診され、そこで伊勢崎市民病院等を紹介されるという後方支援をしっかりと確保させていただくところです。</p> <p>次に地域医療について、特に小児の初期を24時間体制で、かつてのよう</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>な診療体制のため公費投入をすべきではないかというご意見がありました。ここですぐに入れます、入れませんということは言えませんので、そういうご意見があったということで承ってまいります。</p> <p>もう一つが人材の確保です。これは先ほど委員さんもおっしゃっていましたが、今後10年を考えていくには、どうしても医師、それから看護師、さらに言えば介護保険関係の人材、これの人材を確保していかないと、なかなかその地域の医療、それから介護が立ち行かなくなるということも少しずつ見えてきていますので、今後人材の確保というところもしっかり検討していきたいというふうに考えています。</p> |
| 会長 | よろしいでしょうか。他に質疑はありませんか。 |
| 委員 | <p>関連でよろしいですか。お願いなのですがいいですか。がん検診のところで、言っていることが分からなくはないのですが、そうだったらそうというふうに表記をしていただくとありがたいのです。表記がなくてこれだと、埼玉県や全国平均と比べてどうなのかなど、全く分かりません。だからそういうところの問題も一つあるのだと思うのですが、取りあえず現状ができていないということであれば、それはそういうふうに表記していただくと理解が進むのだと思うのです。</p> <p>それともう一つ関連して、もしできるのならば、こういうパーセンテージを挙げるときには、埼玉県平均がどのくらいなのか、あるいは全国平均がどのくらいなのかという情報は、分かる範囲で結構ですからそれは入れていただいた方がありがたいです。そうすると、いわば本庄市のポジションというのがこれで分かるわけですから、目標値は目標値でいいのですが、こういったところを今後工夫していただければありがたいなという、これは要望です。お願いします。</p> |
| 会長 | 貴重なご意見を頂いたと思いますが、いかがでしょうか。 |
| 副部会長 | <p>がん検診について、本庄市の受診率の出し方がこうであるということをしっかりと明記すべきであるということで、おっしゃることは分かりましたので、そういう方向で修正する方向で考えさせていただきます。それから、県平均、全国平均等、比べられる数値があればそれを比較すべきではないかということ、これはここだけの問題ではなく、計画の中にいろいろな数値が出てきています。指標として出ていますので、全てについてそういうことをやりますと、それだけで1冊の統計表ができてしまいますので、どういう形で出せるかも含めて検討させていただければと思います。資料編の中にがん検診の県平均がこうであるなど、あるいは欄外に出すなど、このがん検診についてはご指摘いただきましたので検討させていただきます。</p> |
| 会長 | よろしいですか。他に質疑はございませんか。 |
| 委員 | 12ページの、成果指標について、自立高齢者からシルバー人材センターの会員数となったのですが、他にこの数字に関する検討はあったのでしょうか。 |

| | |
|------|---|
| | <p>うか。そういった検討はあったのかどうかということが1点と、筋力アップトレーニングについて、本庄市の現状を把握して、まだ全自治会には入っていないと思います。ただ、クラブではかなり増えていると思うのですが、そういったところを分析して、どれくらいというふうな出し方ができたらいいのかなと思ったのですが、その辺についてのご意見をお願いします。</p> <p>1点気になったのが15ページの福祉のところ、障害者施策のところの細かい説明の中で、3行目、特に精神障害や知的障害に関わるケースが顕著ですという、この顕著という言葉が、確かに顕著であるとは思いますが、もう少し柔らかい言葉があったらいいのかなという印象があります。</p> <p>それと6行目なのですが、ノーマライゼーションのことについて書いてあるのですが、これはどこからこの文章を引用されたのでしょうか。というのは、7行目の、障害のある人が障害を克服してという言い回しになっているのですが、障害が治るわけではないからということで、精神的な報告などはあったかと思うのですが、どこから引用した文言であればいいかなとは思いますが、その辺の説明をよろしくお願いします。</p> |
| 会長 | それでは説明をお願いします。 |
| 副会長 | <p>シルバー人材センターの会員数の他に検討したかということなのですが、地域福祉関係で他に、ボランティアの登録人数なども候補には上がったのですが、やはり登録人数だけですと、自主的なボランティアの方もいますので、候補から外したという経緯はあります。</p> <p>15ページの3行目の顕著、この辺の表現は持ち帰って検討させていただきま。それとノーマライゼーションの関係も、どこかを引用したのかということなのですが、引用ではなく障害福祉課で考えたということなんです。</p> <p>障害のある人が障害を克服してということですから、障害が完治すればいいのですが、それを乗り越えるという意味で克服という表現を使わせていただいているのです。</p> |
| 副副会長 | 筋力アップ教室の参加者数がなぜ3,000人なのかということですか。 |
| 委員 | 本庄市の高齢者数の現状、今現在全自治会が入っていないわけですから、そういったところをもう少し分析されて数字を挙げたらいいかなと思っています。 |
| 会長 | 分かりましたか。どうぞ。 |
| 副副会長 | <p>教室数の推移などを見てもみますと、24年度が48教室の中、現在28年度は72まで増えています。教室数は2倍にはなっておりませんが、1,300人ほどから2,200人になったということで、これは900人増えているわけです。高齢者の数はこれからも増え続けるわけです。ただ、その場所の確保等も実はこれから難しくなることも考えられます。そういうことも考えて、過去の5年間の伸び、それから今後の伸び等を考えて、3,000をめどということで、今回3,000を掲載させていただいたと</p> |

| | |
|-----|--|
| | いうところですが。 |
| 会 長 | よろしいですか。他に質疑はありませんか。 それではないようですので、次の協議に移る前に部会長の方から報告があるということですので、部会長の方でお願いします。 |
| 部会長 | 15ページをお開きいただきたいのですが、大項目で6障害者の「害」の表記なのですが、ここで漢字を使わせていただいています。国も障害者ということで、「害」の字を平仮名には現在変えていません。それと、本庄市では障害者の方から変えてほしいなどというお声も頂いていないところです。それともう一つ、障害者団体の方から別の計画を作る際に漢字のままでいいですという意見を伺っていますので、本計画でもこの漢字を使用したいと思っておりますのでよろしくお願いします。 |
| 会 長 | 皆さんよろしいでしょうか。それでは協議事項第1号、前期基本計画健康福祉分野について、質疑をこれで終結します。次に協議事項第2号、序論・基本構想素案について事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | ●序論・基本構想素案について説明 |
| 会 長 | それでは事務局から説明がありましたが、この基本構想素案について、みなさまのご意見、ご質問がありましたらお願いします。 |
| 委 員 | ご説明をいただいた21ページのまちづくりの主要課題の⑥番、環境に配慮した取り組みですが、その中の3行目あたりから少し読んでいきますと途中で、「森林には国土の保全や水源の涵養、地球温暖化防止、生物多様性の保全などを防止すると」あります。保全を防止してはまずいので、お見直しいただきたいというのが1点と、それとどうしてもこれは書ける分量が限られてしまうので、なかなか網羅的に書くのは難しいとはおもいますが、概してみますと自然環境が大事だということです。自然資源の景観を守り続けることが求められているということです。そのためにもエネルギーの有効活用が大事だというふうに言っているのも、もちろんつながるのですが、少し飛躍しているような文のつながりになっています。私も専門ですので、また後で文案を考えますけれども、一度持ち帰ってお考えいただければと思っています。意見です。よろしくお願いします。 |
| 会 長 | ありがとうございます。事務局は、いかがでしょうか。 |
| 事務局 | 持ち帰ってよく文章が飛躍しないように注意して見直しをさせていただきますと思います。 |
| 会 長 | 他にどなたか質疑はありませんか。 |
| 委 員 | 20ページの①のところですが、3行目に、そして、「出産や」というふうになっているのですが、「妊娠」という言葉はぜひ欠かせないなと思いましたので、妊娠という言葉は是非入れていただきたいと思います。 |
| 会 長 | これは妊娠、出産、子育て支援ということですか。出産を妊娠に変えるということですか。 |

| | |
|-----|---|
| 委員 | 妊娠という言葉を入れていただきたいのです。 |
| 会長 | 事務局の方はどうでしょうか。妊娠という言葉を入れてもらえたらということですが。 |
| 事務局 | 出産と妊娠ということですので、入れる方向で持ち帰って検討をさせていただければと思います。よろしくお願いします。 |
| 会長 | 他にはありませんか。 |
| 委員 | 27ページの将来の発展に向けた土地利用で、本庄早稲田駅周辺地域において、「若い世代を中心に着実に人口が増加し」というのと、28ページの発展創出ゾーンの中の、本庄早稲田駅周辺では、「居住機能、地域の拠点となるまちの形成」とあるのですが、こうやって早稲田駅周辺地域というのは本庄早稲田の杜という住所になりましたよね。たまたま昨日本庄早稲田の杜の住民の方から、そこが旧自治会の中の一部になっていて、まちとしての構想が全くできていなくてどうにかしたいという訴えがありました。こういうふうを書くのであったら、何となく微妙に書いてあるのですが、住宅地にしようといって地域住民をどうしようかというビジョンが全く見えてこないのです。何となく商業と、何となく住宅というのを感じてしまい、実際に住んでいる住民が困っているらしいので、書き方が何とかということはないのですが、本当に住宅地として定義するなら、本庄早稲田の杜という新しい住宅構想のようなものもきちんと入れてあげないと、周辺地域というふうに片付けられてしまうととても住みづらいという意見を聞いたので、早稲田の杜という住所を、本庄市のこれからの人口が増える一番大事な重点地域にしていると思うので、何となくそこら辺を考え直していただけるといいかなと思います。漠然としていてすみません。 |
| 会長 | 事務局の方で、何かこれに対して説明はあるでしょうか。 |
| 事務局 | 土地利用構想で、この本庄早稲田駅周辺地域は、住居表示で言いますと本庄早稲田の杜というところですが。この土地利用について、今後どのようにしていくのかということについて、確かにおっしゃるようなことがあるかと思えます。周辺の地域住民の方といろいろな計画等についても話し合いが進んでいるというような話も少し聞いていますので、都市整備部の担当部局とも、このような意見があったということで確認をさせていただきたいと思えます。 今後、都市整備分野について基本計画素案のご提案をさせていただく機会がございますので、またその辺でもご意見を頂ければありがたいと思えます。 |
| 会長 | よろしいですか。また違った分野のときにもぜひ質疑をしてください。他に質疑はございませんか。 ないようですので、協議事項第2号までにつきましてはこれで終了したいと思います。 |

様 式

| | |
|-----|--|
| 会 長 | またみなさまからこの協議事項の他にご意見、ご質問等はありませんか。よろしいですか。それでは、ないようですので、これで本日の議事は終了させていただきます。それでは進行を事務局にお返しします。議事進行にご協力と熱心なご審議に感謝申し上げます。 |
| 事務局 | 大変長時間にわたりまして、ありがとうございました。先ほども事務局の方から将来像についてあるいは政策大綱について、ご意見あったらお願いしますというふうにさせていただきましたが、なかなかご意見も出てくるものではないと思いますので、今後の会議でご意見をいただければありがたいと思います。 |
| 会 長 | 今後気づいた点がありましたら、次の回でぜひ意見を出していただければと思います。 |
| 事務局 | そういうことでお願いしたいと思います。 |
| 事務局 | みなさま大変慎重なご審議ありがとうございました。議長におかれましてはスムーズな進行ありがとうございました。事務局からその他ということでご連絡をさせていただきます。 |
| 事務局 | (次回の日程の連絡) |
| 事務局 | 以上をもちまして、終了させていただきます。本日はお疲れ様でございました。 |

会 長 久瀬 伸一